

ナノバイオテクノロジー分野における実験と分子シミュレーションのインタープレイ

本シンポジウムでは、分子エレクトロニクスを含むナノバイオテクノロジー関連分野で実験と分子シミュレーションについて最前線で研究を進める研究者による招待講演を主軸とし、実験と計算のインタープレイの現状を概観し、併せて今後の発展の方向性について展望する機会とします。

日時： 2025年9月8日(月) / 13:30～18:30
会場： 名城大学 天白キャンパス

招待講演者	講演タイトル
藤田 貴敏 (QST)	「有機薄膜太陽電池の電荷分離シミュレーション」
長坂 将成 (分子研)	「軟X線吸収分光法による液体と固液界面のオペランド計測」
奥脇 弘次 (JSOL)	「種々のシミュレーション技術を用いた自己組織化・電気現象の解明」
大嶋 梓 (NTT)	「ホール加工基板を用いた脂質二分子膜の物理的評価」
土居 英男 (立教大)	「分子間相互作用予測における機械学習：課題と展望」
山本 英明 (東北大)	「神経回路研究における実験とシミュレーションのインタープレイ」
山本 詠士 (慶應大)	「分子シミュレーションで探るナノバイオの分子機構」
早水 裕平 (科学大)	「自己組織化ペプチドを用いたグラフェン界面修飾とそのセンサ応用」